

2020年度 認定こども園マロニエ幼稚園学校評価の結果について

2020年（令和2年）度は、新型コロナ感染拡大防止を鑑み、園内外の様々なプログラムについて一部縮小や中止という苦渋の決断を余儀なくさせていただいた年となりました。

小職といたしましては、子供たちに今しかできない様々な体験や思い出を残してあげたいことを第一に考え、日々楽しい幼稚園生活を送れることを目標に鋭意努力してまいりましたが、緊急事態宣言の発出は、新年度のスタートが遅延することとなり、私どもはこの限られた期間内で子供たちの知力や体力を育むことに努めてまいりました。また、この未曾有な事態であるからこそ、園生活の中で、子どもたちの精神力や感性がより豊かで「人間力」を身に着けることができるよう、私ども教職員は一丸となって保育に取り組んでまいりました。これらの取り組みは、まさに園運営全般におけるPDCAシステムの検証が重要であることを改めて認識できたことでもあります。

今年度実施の幼稚園評価につきましては、下記のような結果となりました。実施結果の内容につきましては、教職員一同が真摯に受け止め、定期的な意見交換を行いながら、本園の改善や発展に向けた方策に取り組んで参りたいと存じます。今後も保護者の方々や関係者の皆さまから様々なご意見、ご要望等を伺いながら、質の高い幼稚園運営を目指していく所存でございます。

今後とも皆さまのご理解、ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年11月25日
園長 佐久間久枝

2020年度 マロニエ幼稚園 学校評価報告書

2020年11月

I. 報告者 幼保連携型認定こども園 マロニエ幼稚園園長 佐久間 久枝

II. 趣 旨 2020年度の学校（幼稚園）評価を実施した結果については、教職員全員において現状（課題や改善事項）を認識するとともに、今後の保育・幼児教育の取り組みや本園の運営に生かす改善方策を策定することとした。また、保護者の方々やステークホルダーに公表し、そこでの意見や提言等を反映させていくことを目標とする。

III. 自己点検・評価結果報告

1. 実施時期 2020年8月

2. 点検・評価対象者 認定こども園マロニエ幼稚園に在職する専任教職員

3. 点検・評価項目

【幼稚園・保育舎〔共通〕】

- I. 教育目標・教育方針 II. 教育課程・指導計画 III. 教育環境 IV. 行事
 V. 教職員の役割・資質向上 VI. 特別支援教育 VII. 保健・安全指導 VIII. 保護者との連携・情報
 IX. 子育て支援 X 運営管理

4. 集計結果（抜粋）

| 点検・評価項目 (大項目・小項目) | A:よく当てはまる | B:やや当てはまる。 | C:あまり当てはまらない | D:全く当てはまらない |
|--|------------|------------|--------------|-------------|
| I 教育目標・教育方針 | 82% | 18% | | |
| 1) 園の教育目標・教育方針・保育理念は、よく理解している。 | 74% | 26% | | |
| 2) 幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿ったものになっている。 | 89% | 11% | | |
| II 教育課程・指導計画 | 89% | 11% | | |
| 1) 子どもたちの年齢ごとの教育課程・指導計画は適切である。 | 85% | 15% | | |
| 2) 同計画は教育目標等に生かして策定されている。 | 93% | 7% | | |
| III 教育環境 | 50% | 41% | 9% | |
| 1) 園児の保育・教育に自然や施 | 30% | 52% | 18% | |

| | | | | |
|--|------------|------------|-----------|--|
| 設を有効に活用している。 | | | | |
| 2) 園児のしたいことや興味のあることを取り入れるようにしている。 | 70% | 30% | | |
| IV 行事 | 63% | 37% | | |
| 1) 園児の反応や保護者の要望や意見を取入れている。 | 70% | 30% | | |
| 2) 計画・実施・評価・改善(PDCA)を講じながら実施している。 | 56% | 44% | | |
| V 教職員の役割・資質向上 | 85% | 15% | | |
| 1) 子どもの発達段階や興味・関心に に応じた保育・教育を心掛けている。 | 85% | 15% | | |
| 2) 全体の中でも一人一人を大切に 受け止めた指導を心掛けている。 | 85% | 15% | | |
| VI 特別支援教育 | 58% | 35% | 7% | |
| 1) 当該園児について、教職員全員 で共通理解をはかり、支援体制を整 えている。 | 52% | 37% | 11% | |
| 2) 医療、福祉等関係機関との連携 が適切に図られている。 | 63% | 33% | 4% | |
| VII 保健・安全指導 | 69% | 27% | 4% | |
| 1) 避難訓練・交通安全指導を、計 画に基づいて適切に実施している。 | 63% | 33% | 4% | |
| 2) 健康・安全な生活に必要な習慣 や態度育成の為、家庭への啓発を行 っている。 | 74% | 22% | 4% | |
| VIII 保護者との連携・情報 | 86% | 12% | 2% | |
| 1) 寄せられた具体的な意見や要望 に、適切に対応している。 | 74% | 26% | | |
| 2) 行事予定やクラス便り、HP等保 護者等を対象とした園の情報を共有 し適切に伝えることができている。 | 86% | 7% | 7% | |
| 3) 園児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。 | 96% | 4% | | |
| IX 子育て支援 | 72% | 28% | | |
| 1) 保護者の子育てについて相談に のっている。 | 70% | 30% | | |

| | | | | |
|--|------------|------------|------------|--|
| 2) 保護者の要望に応じた預かり保育が実施されている。 | 74% | 26% | | |
| X 運営管理 | 54% | 30% | 16% | |
| 1) 保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。 | 93% | 7% | | |
| 2) 保育舎、幼稚舎相互間で園児の様子を共有し、教員間で意見交換ができています。 | 15% | 52% | 33% | |

※各点検・評価項目（大項目）の集計結果については、さらに細分化された点検・評価項目（小項目）を総合して、その平均値を算出した。

5. 点検・評価結果及び課題等

(I) 【教育目標・教育方針】

定期的に検証すべき重要な項目であるが、大項目については「よく当てはまる」が82%以上の評価となった。（昨年比：1%増）

(II) 【教育課程・指導計画】

保育・教育の基本となる点検項目であるが、大項目については、「よく当てはまる」が、89%以上の評価となった。（昨年比：4.5%増）

(III) 【教育環境】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が91%以上の評価となった。昨年度に引き続き、園児の保育・教育に周辺の自然や施設を有効に活用していることの重要性を十分に認識していることが明らかとなった。（昨年比：-1.5%減）

(IV) 【行事】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が100%以上の評価となった。特に、PDCAサイクルを踏まえた行事の取り組みは、保護者の方の意見や要望を反映しながら、次期行事に向けた質の向上を目指したい。（昨年比：+5%増）

(V) 【教職員の役割・資質向上】

大項目及び各点検・評価項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が100%以上の評価となった。（昨年比：+5.7%増）

(VI) 【特別支援教育】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が93%以上の評価となった。（昨年比：0.3%増）

(VII) 【保健・安全指導】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様97%以上の評価となった。園内では、リスクマネジメントとして、啓発や訓練等を定期的に行っているが、引き続き定期的な企画立案を行い、運営していきたい。

(VIII) 【保護者との連携・情報】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様100%の評価となった。例年、保護者の方におかれては園行事に積極的に参加し、協力していただいております。今後ともご理解、ご協力を仰ぎたい。

(IX) 【子育て支援】

大項目及び各点検・評価項目の全項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が昨年度同様100%の評価となった。なお、保護者の方から子育てについて相談にのることは、今後も積極的に対応させていただくことが再認識できた。

(X) 【運営管理】

大項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が84%以上の評価となったが、「幼稚舎、保育舎間での園児の交流及び教職員相互間における意見交換等が十分に生かされている」の懸案事項については、70%弱が達成できていると評価された。（昨年比：-11%減）

6. 総括

集計結果については、個々人による自己点検・評価の結果となっており、評価の度合いが異なるが、本園における現状を確認、認識することができるとともに、今後の課題や改善点、ひいては発展に向け方策としての検討事項が明確となった。その結果、点検・評価の大項目10のうち、達成できているもの（分類）として、「A:よく当てはまる」「B:やや当てはまる」に位置付けた場合、100%の評価が5項目（昨年比：2項目増）、90%以上の評価が4項目（昨年比：-2項目）にそれぞれ分類された。また、全体の評価結果から判断すると、昨年度からさらに評価の精度があがっており、各点検・評価項目についても、概ね達成できていると分析できる。なお、本園の課題や問題点として、「保育舎、幼稚舎間における運営体制において、教職員相互間の情報共有及び意見交換が必ずしも十分ではない、或いは、双方の園児との交流が、保育に生かされていることが十分ではない」等が毎年浮き彫りとなっているが、今年度は昨年度よりもやや評価が下がっている。引き続き、改善を図っていきたい。